

評議員主幹の任に當り功勞特に多し依て此の賞牌を贈り其勳績を表旌す

明治三十八年五月二十日

明治三十八年五月二十日

總裁 大勳位 載仁親王

會長正二位勳一等 子爵 榎本武揚

主幹從六位 伊木常誠

●最上嶽内事蹟調査 故最上嶽内氏は寛政年間親しく樺太島に渡航し同島調査に従事し、或は北海道本島千島に於て盡し、功績は彼の蘭警「J」ホルド氏によりて、世界に紹介せられ大いに外人の注意を惹きしこと、間宮林藏氏の如くなるに却て我國人に知られざるは識者の遺憾とする所なり。仍て本會は進んで氏が事績の調査に従事せんとし理學士小川琢治氏主として之が任に當り、尙ほ文學士大塚武松氏にも依托し、且つ 嶽内氏の生地たる山形縣下及第二の故郷たる青森縣下には、會員小林房太郎氏を派遣し之が調査に従事せるを以て、遠からずして、未知の事業は社會に紹介せらるゝに至るへし。

雜報

●樺太島南部占領地海灣岬角島嶼名改稱

今回我北遣艦隊及樺太上陸軍が占領(七月八日以降)したる海灣岬角島嶼等は薩哈噠島(Sakhalin)を樺太と改稱したるを始

め、他に幾多の新命名ありたるが七月二二日(水路部告示第四七七三項官報六六〇)には左の如き發表ありたり
九號三十八年七月十二日)には左の如き發表ありたり
地名の改稱

新稱	舊稱	新稱	舊稱
樺太 薩哈連島	重嶺岬 Cape Sretoko (Cape Aniva)	片岡岬	Cape Patience (忍耐岬)
東伏見灣 Aniva bay	海馬島	Todmoshihi (Moneron I)	
千歲灣 Lososel bay	二丈岩	Opasnost rock (Dangerous rock)	
七郎灣 Patience bay	海豹岩	Sivvichi rock (海獅岩)	
對馬岬 Enduma point	海豹島	Robben island(海豹島)	
近藤岬 Cape Krillon (Cape Notoro)			

●新命名の由来を聞くに薩哈連島を改めて樺太としたるは帝國此地を領有せし時の舊稱に復したるものにて、アニコロ灣は東伏見宮殿下の千歲艦長として敵艦ノリキックを撃沈し給ひ爾後屢々同灣に航行せられたるに依りて、其名を取りしもの、又ロソセイ灣は軍艦千歲が薩哈連島と共にノウキックを撃沈せしめたるに由り千歲灣と命名せしものなり。テルメーニエ灣(Terpentie, Bay)前記水路告示には Patience)は樺太島中第一の大灣なるが北遣艦隊司令官片岡中將の名を取りて七郎灣に改め、次に軍艦對馬の戦功にヨリエジツマ嶺を對馬嶺とし、又近藤軍艦が深く邊境を憂ひ、自ら探検して邊境分界圖考等を著し境界線を確認するの意を發したるを以て其の志を取りノトロ岬を近藤岬、シレット岬を重嶺岬に改稱し、又七郎灣の東側をなせる忍耐岬に片岡中將の姓を取りて改稱せり。蓋し如斯は機敏の所置咄嗟の所置としては誠に可なりと雖も、近藤軍艦の如き樺太を探検せ

ざるものに對して地學上重要名稱を與へ其他の功勞ある鈴木重尙、松浦武四郎、最上嶽内の如き探検者の名を取らざりしは賢明なる當局者の行爲として如何との疑を挟む餘地なきに非ず、然れども水路部當局者の言として某新聞に掲げたる所に據れば、從來水路に關する地名は水路部長の自由に変更し得るものにして、主として水路の必要に基く者なれば、人の是を用ふる否とは問ふ所に非ずとなり。果して、然れば吾人は平和克復の曉、我主權の確實せる上、改めて其適當なる改稱の發布あるを信するなり。否爾かせずんばある可からざるなり。故に今回の地名改稱は唯陸海軍が或必用上同部内のみ於て用ゆる者、と認めノトロ(近藤岬)又シレット岬(重嶺岬)の如く依然として舊稱を用ゐんとす(前號間宮海峽新稱及本號小川氏樺太占領地名問題參照)田中阿歌麻呂)

●樺太占領地陸上地名の改稱 我北遣艦隊及

樺太上陸軍は、同島南部の岬角海灣等に改稱を行ひたるが(前項)其行動の進捗に伴ひ、此程樺太軍は内地に對し過般來夫々因みある新地名を附したり。

- サウチバーチ (コルサコフの南東端) 初泊村
- ホロアントマリ (サウチバーチとコルサコフとの中間) 大泊村
- コルサコフ 竹内港
- メレヤ (コルサコフの北向本道線の初驛) 命令谷村
- ペールワーヤバーチ 同上第二驛) 八日市村
- ソロイヨフカ(同上第三驛) 十日市村
- ハムトフカ(同上第四驛) 本深村
- ウラジミロフスタ(同上第五驛) 晴氣村
- ノウアレクサンドルスコイ(同上第六驛) 小島村
- バリシヤエラニ(同上第七驛) 横田村

プリジチー(ウラジミロフスタより西方に分岐し迂迴してコルサコフに通ずる沿道第一驛) 白水村
トロイチヨイ(同上第二驛) 向井村
タリニ(同上第三驛) 西久保村
改稱の由緒は例へばサウネバーチ村は我上陸軍が初めて宿營せし處なるより之を初泊村と名づけペールワーヤバーチは八日に、ソロイヨフカは十日に各占領せしを以て一は八日市村、一は十日市村と命名したるが如く其他占領せる部隊の隊名及戰功者等の名に因みたるものありて孰れも永く之が名譽の記念たらしめんと云ふにあり
以上の如き改稱は當代勳功者に因みたるものにして樺太占領史上には其要を得たり然りと雖タルニを大連と改め韃靼海峽を間宮海峽に改めたるに比し是等の改稱が其地理學的價値の少なさを吾人は切に遺憾とするものなり(田、阿、)

●千島國擇捉島地名改字 北海道千島國擇捉島

歌。葉。を。字。多。須。都。
と改稱する旨八月二日其筋より發布し、海軍水路部より告示(第千六百八十二號第四八八項)を以て、既版の圖誌